

令和4年11月18日

文化審議会の答申（登録有形文化財（建造物）の登録）

文化審議会（会長 佐藤 信）は、令和4年11月18日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに109件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は13,639件となる予定です。

1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登録件数	109	13,639
関係都道府県数	22	47
関係市町村(区)数	37	1,004

○時代別 (件)

	江戸以前	明治	大正	昭和			計
				前期 (S元～ S20)	中期 (S21～ S40)	後期 (S41～ S64)	
新規登録	13	37	24	26	9	0	109
累 計	2,432	4,305	2,769	3,517	572	44	13,639

○種 別 (件)

	産 業			交通	官公 庁舎	学校	生活 関連	文化 福祉	住宅	宗教	治山 治水	他	計
	1次	2次	3次										
新規	0	21	10	3	0	10	0	4	49	10	0	2	109
累 計	123	1,438	1,701	515	240	432	337	467	6,103	1,973	223	87	13,639

(件)

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	93	0	16	109
累 計	10,831	664	2,144	13,639

今回の答申における主なもの

① ニシン御殿を改修した近代和風ホテル

001 銀鱗荘日本館（旧猪俣家住宅） 北海道小樽市 明治後期／昭和13年移築

余市に所在した望楼付きニシン漁家主屋を移築し、宿泊施設として改修したもので、50畳もの大広間に堂々とした床構えを配す。神棚や囲炉裏等がニシンで栄えた時代を伝え、玄関ホール等に日本画家の安藤瀨埠（栖阜）の図案による装飾を加え、意匠を凝らした近代和風ホテル。



② 本格的テューダー様式の洋風住宅

008 旧渡辺甚吉邸主屋 茨城県取手市 昭和9年／令和4年移築

東京白金台に所在した実業家の近代洋風住宅で、鉄平石貼りにハーフティンバーとする玄関が目を引く。内部は瀟洒なタイルや石材と、木部の濃密な装飾で、隙のない空間を作り上げる。遠藤健三、山本拙郎、今和次郎の共作。落ち着いた佇まいで我が国のテューダー様式住宅の傑作。



③ 現役の近代和風弓道場

009 本多流洗心洞（高木道場）弓道場 埼玉県久喜市 昭和7年頃／平成23年改修

旧清久村の旧家で、東京大学弓術部師範を務めた医家の弓道場。高い天井で板間の射場を中心に、師範の席で床構え付きの上座、畳敷きの控え、弓置き場を周囲に配する。安土を置く的場とともに典型的な弓道場で、良質な近代和風建築。



提供：久喜市教育委員会

④ ^{すげがさ}菅笠の郷で洪水に備える土蔵

050 石川家住宅段蔵 大阪府大阪市 明治22年頃／大正後期・平成28年改修

菅笠の郷として知られる^{ふかえ}深江に所在する土蔵で、旧家の宏大な屋敷構えの一角を成す。明治18年洪水被害の後に建築したもので、高石垣に建つ「^{だんぐら}段蔵」と呼ばれる形式。屋敷は主屋の吊り仏壇など洪水に備えた知恵を伝える。町角の地域資源を活かす住民の取り組み「深江まるごとミュージアム」の展示建物。



⑤ 和風時計塔がシンボルの近代学校建築

098 高知^{おうてまえ}追手前高等学校本館 高知県高知市 昭和6年／同中期改修

高知城から延びる^{おうてすじ}追手筋に面する鉄筋コンクリート造学校建築。インターナショナルスタイルの3階建ての中央に、^{ほうぎょうづくり}宝形造屋根の和風塔屋を設けて、いわゆる帝冠様式とする。教室や廊下は腰板壁の落ち着いた空間で、^{ほうあんてん}屋上の奉安殿は時代性を伝える。鉄骨造の和風塔屋は時計台として街のシンボルでもある。



⑥ 洪水の被害を乗り越える公衆温泉浴場

108 ^{こうしゅうおんせんしんおんせん}公衆温泉新温泉 熊本県人吉市 昭和6年頃

人吉市の市街地にある木造の公衆温泉浴場。男女別の脱衣室と浴場を田の字に配し、ガラス戸を多用して開放的で、入口に番台を置く近代公衆浴場の典型。令和2年洪水被害を受け、有志が集まり復旧し、活用に向けて活動中。



<担当> 文化庁文化財第二課電話：03-5253-4111（代表）

課長 山下 信一郎

課長補佐 田中 佳幹

登録部門 黒坂 貴裕、清永 洋平、須藤 洋行（内線 2797）

審議会係 森 幸一郎、内田 奈緒（内線 3160）